



2026 年 9 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社マツキヨココカラ&カンパニー
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄
コード番号 3088 東証プライム
問 合 せ 先 常務取締役グループ経営企画統括 石橋 昭男
TEL (03-6672-7808)

統合報告書 2026 の発行に関するお知らせ

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：松本清雄）は、このたび、「統合報告書 2026」（日本語版）を発行いたしましたので、お知らせいたします。

1. 概要

本報告書では、1.7 億超の顧客接点（データ）とグループ共通の価値観・行動基準（マツキヨココカラ WAY）を体現する従業員が生む付加価値を軸に、独自の強みを収益に変える仕組みと、ドラッグストアの枠を超えて進化し続ける成長ストーリーを提示しております。

特に、以下のポイントを中心に、持続的な企業価値向上に向けた取組みを可視化・拡充いたしました。

(1) 強みの可視性

プラットフォームビジネス（PF ビジネス）の全体像や具体事例の拡充に加え、稼ぐ力に直結する「動的人材ポートフォリオ戦略」とその育成計画を明示しています。

(2) 成長の再現性

連合体構想における M&A・アライアンス方針と新グループイン企業への伴走支援体制を明確化するとともに、重要課題の解決と収益・成長・資本コストを繋ぐストーリー（価値創造プロセス・非財務／財務 KPI の相関経路図）を更新しています。

(3) 経営の実効性

全役員の選任要件の開示や社外取締役メッセージによる監督機能の実証をはじめ、サクセッションプラン（次世代経営陣の育成体制）の具体化及び社長要件の提示、更にはサイバーセキュリティ・AI ガバナンス体制の整備など、攻めの統治を強化しています。

【主な掲載コンテンツ】

- **トップメッセージ**：これまでの振り返りと、独自の強みを活かした更なる成長への展望
- **強みの可視性**：プラットフォームビジネスの全体像・事例、動的人材ポートフォリオ戦略と育成計画
- **成長の再現性**：M&A・アライアンス方針と伴走支援体制、マテリアリティ解決と収益・成長・資本コストを繋ぐストーリーの更新
- **経営の実効性**：全役員の選任要件・社外取締役メッセージ、サクセッションプラン（社長要件等）、サイバーセキュリティ及び AI ガバナンス体制

2. 統合報告書 2026 掲載 URL・二次元コード

「統合報告書 2026」は、以下の URL よりご覧いただけます。

https://www.matsukiyococokara.com/sustainability/integrated_report/

※英語版は、2026 年 10 月中の公開を予定しております。



3. 今後の展望

当社グループは、「未来の常識を創り出し、人々の生活を変えていく」というグループ理念のもと、強みである無形資産を収益力へと変換する取組みを加速させてまいります。今後もステークホルダーの皆様との継続的な対話を通じて、透明性の高い情報開示に努めるとともに、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

【ご参考】当社のサステナビリティに関する情報

- [サステナビリティ | マツキヨココカラ&カンパニー](#)
- [統合報告書 | マツキヨココカラ&カンパニー](#)

以上